

四郎丸小学校旧校舎お別れ会 謝辞

旧校舎お別れ会実行委員長 佐藤 健二
(四郎丸小学校同窓会会長)

1. 今回の「旧校舎お別れ会」全体像について

今回の「旧校舎お別れ会」については、当初から先行きの不透明なコロナ対策として、大きく第1部（児童の部）、第2部（地域住民、同窓生を対象とした一般の部）と分けて開催する計画で進めてきましたが、本来統一したイベントであり、共に結び付きの強い性格を持つため、1部・2部双方の評価を交えて全体像を紹介したいと思います。

2. 第1部(児童, 教職員の部)報告 8月30日(火)5校時

新校舎放送設備を使用し、児童の待機する教室、職員室等に配信。夏休み明け、新校舎移転後、児童が旧校舎を訪れ、自分たちがかつて使っていた教室、お気に入りの場所等に自由にメッセージや絵を描いて、ガランとした旧校舎にお別れを告げ、それらのシーンを映像化して編集し、放映しました。また、先生たちのお気に入りの場所の紹介もあり、全校児童、教職員で6000人余りの卒業生の思い出のギッシリ詰まった旧校舎をなつかしみながら、別れを告げました。

3. 第2部(一般の部, 地域住民, 同窓生対象)報告 9月10日(土)10:00~11:00

二日前までの秋霖を思わせる雨模様の天候から一変、当日は爽やかな秋晴れに恵まれました。スタッフは9時集合。9時半頃には、役割説明を受け、各々持ち場に配置しました。9時40分頃には、高校生？の二人組を始めとして来場者が増え始め、10時を過ぎる頃には、当初準備していた名簿記入用机・椅子だけでは対応しきれず一組増設しました。しかし、それでも受付前の行列が旧校舎前に伸びていき受付隣の教室を名簿記入室として増設しボランティアを配置し、10時半過ぎには、ようやく行列も解消し始めました。この間、来訪者の皆様は、特にクレームを上げるでもなく、粛々と校舎外に列を作って待っていただき、受付スタッフ一同その落ち着いた対応に感謝しております。また、当混雑回避のため、千葉東中田町内会連合会長、校長先生らが自ら来訪者整理に当たっていただきました。続いて、来訪者の旧校舎案内に当たって PTA ボランティアの皆様は、田字型校舎複数階段接続という半迷路の中を大きな支障もなく的確にガイドしてくださいました。

一方、旧校舎受付の混雑ピークから40～50分後に見学者のピークを迎えた新校舎玄関では、旧校舎受付に人員を急遽配置移動させたため、手薄になった状況で鵜田新聞店社長が、仁王立ちになって（顔はニコニコしていましたが）親切に来訪者の案内をしていました。旧校舎受付には、締め切り過ぎの11時20分頃までポツリポツリと来訪者がありましたが、11時30分受付を実質終了しました。新校舎見学も、12時20分頃最終の退出者でもって無事終了しました。見学者総数は、受付名簿枚数502枚、家族構成員等を考慮した想定総数600名でした。

4. 謝辞

まず、児童の皆さん、第1部の映像で旧校舎にお別れメッセージ、絵画を描いている場面は、愛惜の思いが伝わって来ると同時に、第2部の一般見学者の皆さんにも感動を与えてくれる内容になっており、当お別れ会の立派な導入部となりました。

次に、第2部広報において鴫田新聞店社長が、新聞折込広告を2度に渡って（地域のため）無償で提供していただきました。特に2回目は打合せ外だったので、実行委員一同うれしい驚きでした。また、四郎丸小学校同窓会ホームページは、小池校長自らが、当お別れ会部分をデザイン、立ち上げて、四郎丸学区を越える全国版広報を受け持ってくれました。

加えて、昔の四郎丸学区の範囲は広く、東中田町内会連合全体、中田中部町内会連合の一部に渡るため、各々、千葉会長、目黒会長に回覧広報、ポスター掲示等をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

展示、掲示においては小学校職員の皆様の手慣れたプレゼンテーション技術に加え過去の資料の発掘、整理で見事に旧校舎の過去の姿が浮かび上がってきました。また、新・旧校舎のドローン映像（高橋東中田市民センター館長の紹介と伺っております。）にアニメ映像、ナレーションの入ったDVDをプロの技術で編集した柴森扶桑会会長。一言「軽～いもんですヨ。」とにこやかに話しました。

会場準備、見学対応については、前日から旧校舎の展示準備、各種掲示、順路設定等に対応していただいた教頭先生を始めとする教職員の皆さん（皆様の迷路のような旧校舎に対する知見、愛情がなければ、とても順路の設定などできませんでした。）実行委員会で当初、各階2名程度の案内でいいですよ！と甘く見ていたのを「各階3名は必要です。」と明確に指摘して、総勢13名まで増員してくれたPTAボランティアの皆さん。お陰様で受付の混乱をよそにスムーズな旧校舎案内でした。

「まさか埼玉から来た人がボランティアに参加する筈はないだろ～？」「中高生が本当にボランティア？」というような同窓生ボランティアに支えられて、受付名簿業務、駐輪場業務等はなんとか回りました。そして、同窓会1期生の諸君。「1期生はつらいヨ！」と嘆きながらよく協力してくれました。感謝してるぜ！同窓会ボランティア13名。

謝辞の最後は、当行事の主旨に賛同して、わざわざ足を運んでくれた600名に上る皆様に対してです。受付における多少の混雑にもめげず、昔、学んだ教室、屋上からのすばらしい眺望等を楽しんでいただけたでしょうか？我々、実行委員会一同は、見学の最後にニコニコ顔で新校舎から出てきて、懐かしい仲間たちと話し込んだりしている参加者の皆様を見て、心から実施してよかったですと思っております。

以上、これからは四郎丸小学校新校舎で、地域と共に学校・児童が活動していくこととなります。旧校舎時代と同様に、より一層、地域・学校との協働活動への理解と参加をお願いいたします。

追伸 今年10月以降、当パワースポット、聖地でもある旧校舎は解体されることとなります。お別れ会も終了し、再び静けさの戻った旧校舎も、最後は1000名を超える児童・同窓生・地域の人々の来訪を受けて、十分満足して、新校舎にその役目をバトンパスするでしょう。夜には、二宮尊徳の像がニッコリ笑って、「やったネ！」とVサインを出しているとか、いないとか…。以上

※ 旧校舎の記録を仙台市立四郎丸小学校同窓会ホームページに公開しております。興味のある方は、左記のQRコードをご活用の上、ご覧ください。

